

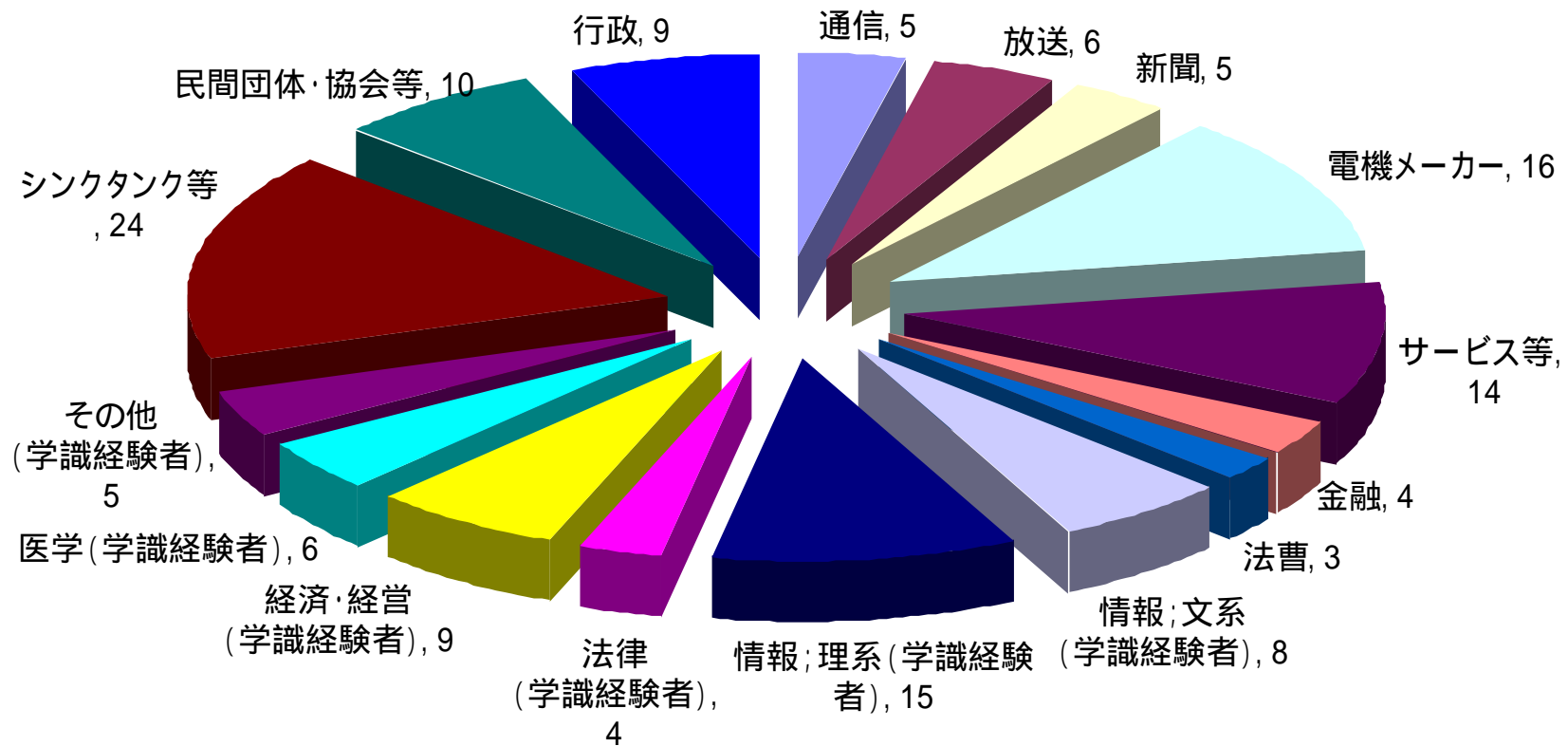
「ユビキタスネット社会に関する アンケート」調査結果

平成16年11月19日
利用環境WG

株式会社 野村総合研究所

「ユビキタスネット社会に関するアンケート」配布先

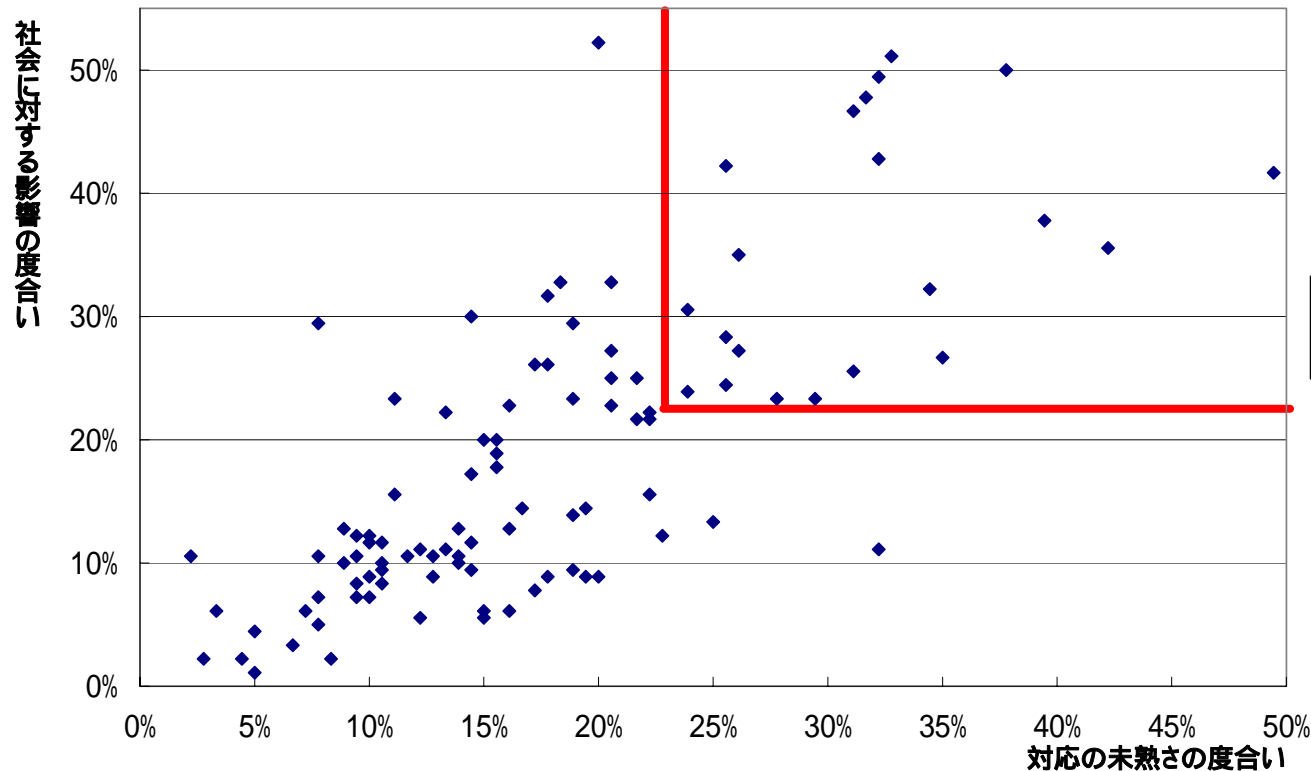
アンケート調査	依頼対象者数	143人
	回答者数	92人
	回答率	64%



「サービス等」には、テクノロジー開発、コンテンツプロデュース等のインターネット関連ビジネスが含まれている。

優先的に取り組むべき「課題」

問2～5(深刻度、波及度、対応の遅れ、実効性)を踏まえ、以下の20課題を優先的に取り組むべき具体的な「課題」として位置づけてはどうか。



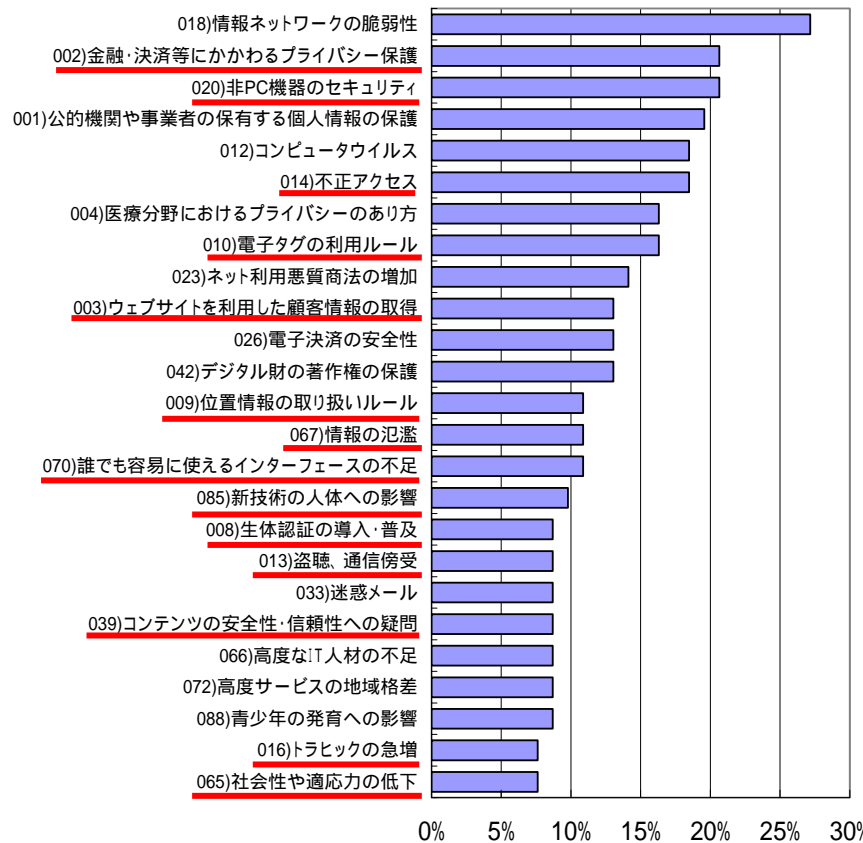
20課題の抽出

- | | | |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・迷惑メール ・デジタル財の著作権保護 ・ネット利用悪質商法の増加 ・公的機関等の保有する個人情報保護 ・コンピュータウイルス ・電子政府の利便性 ・教育におけるIT利活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・医療におけるIT利活用 ・情報ネットワークの脆弱性 ・電子決済の安全性 ・コンテンツの二次利用の不足 ・高度サービスの地域格差 ・社会資本整備におけるIT優先度 ・高度なIT人材の不足 | <ul style="list-style-type: none"> ・医療分野におけるプライバシーのあり方 ・情報技術の研究開発における科学技術倫理 ・地方公共団体の業務の不統一 ・電子自治体における格差 ・一般ユーザの情報セキュリティ意識 ・知的財産戦略の不足 ・青少年の発育への影響 |
|--|---|---|

ユビキタスネット社会に特有の課題の明確化

「ユビキタスネット社会の実現によって不安や障害が助長・増幅される課題」として回答された中から、優先20課題に含まれていないものを吟味し、「ユビキタスネット社会に特有の課題」として明確化。

問6 無線、有線のネットワークが切れ目なく接続され、“いつでも、どこでも、何でも、誰でも”簡単にネットワークを利用できるようになるユビキタスネット社会の実現によって、特に強く、国民や企業における不安、障害が助長・増幅される可能性がある対応課題を、100の対応課題の中から5つ以内で選んで、下の記入欄に番号をご記入ください。



-
- ・金融・決済等にかかわるプライバシー保護
 - ・ウェブサイトを利用した顧客情報取得
 - ・生体認証の導入・普及
 - ・位置情報の取り扱いルール
 - ・電子タグの利用ルール
 - ・盗聴、通信傍受
 - ・不正アクセス
 - ・トラヒックの急増
 - ・非PC機器のセキュリティ
 - ・コンテンツの安全性・信頼性への疑問
 - ・社会性や適応力の低下
 - ・情報の氾濫
 - ・誰でも容易に使えるインターフェース
 - ・新技術の人体への影響

下線付は、「ユビキタスネット社会の実現によって不安や障害が助長・増幅される課題」として回答された課題のうち、前述の「優先20課題」に入っていないものを示す。